

審議会等の会議結果報告

| | |
|-------------|--|
| 1. 会議名 | 令和2年度第2回松阪市文化センター運営委員会 |
| 2. 日時 | 令和2年10月8日(木) 午後7時00分から午後8時30分 |
| 3. 場所 | 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室 |
| 4. 出席者名 | (委員) ◎梶 吉広、柴田 実、牧田研介、大門公子 (◎委員長) 4名出席 (事務局) 堀口クラギ文化ホール館長・久保主査・上野係員・和氣嬉野ふるさと会館館長・堀川飯南産業文化センター所長・文化課山本主幹 6名出席 |
| 5. 公開・非公開の別 | 公開 |
| 6. 傍聴者数 | 無し |
| 担当 | 松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 堀口 英明 電話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp |

議題

1. 令和元年度自主事業実績について
2. 令和2年度自主事業について

議事録

別紙

令和2年度第2回松阪市文化センター運営委員会議事録

日 時 令和2年10月8日(木) 19:00~20:30

場 所 農業屋コミュニティ文化センターリハーサル室

出席者 【委員】梶 吉広、柴田 実、牧田研介、大門公子

【事務局】クラギ文化ホール 堀口館長、久保主査、上野係員

嬉野ふるさと会館 和気館長

飯南産業文化センター 堀川センター長

文化課 山本主幹

◎議 題

1. 令和2年度自主事業について

新型コロナウイルスの影響により、16事業中8事業が中止または延期となった。3事業は実施済みであり、残る5事業に関しては情勢を注視しつつ実施予定。また、中止となった、第10回松阪の第九の主催団体と共催で、伊勢管弦楽団演奏会を12月13日に実施予定。

主な意見

○ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」公演について

・会館自主事業としては中止となったが、貸館事業として開催すると聞いている。どのように開催するのか。

会館自主事業としては契約面から早期の判断が必要であったため、9月に中止を決定したが、劇団が主催者として文化庁の助成事業に申請し行うと聞いている。また、松阪子どもNPOセンターが協力すると聞いている。

2. 令和3年度自主事業について

新型コロナウイルスの影響により、子ども達の行事の多くが中止となっており、子ども達への影響を懸念する声が多いため、令和3年度自主事業は子ども向け事業を中心として選定、了承される。

主な議論・意見内容

○令和3年度新規自主事業候補について

- ・劇団うりんこ「ともだちや」、人形劇団「むすび座」公演、ロバの音楽座「ガラン・ピー・ポロン」については、過去に観劇したことがあるが、どれも質の高いものであり、甲乙つけ難い。
- ・音楽の絵本公演については、過去に嬉野ふるさと会館にて過去に公演実績があり、当時は人気があった。子どものために演奏者が動物のマスクをしているが、演奏者は日本のトップクラスの人間であり、演奏の質が保証できる。
- ・現在はアフターコロナ過渡期という見方もあり、子どもに焦点をあてるという事は良い事だと思われる。今年度開催予定であった子どもNPOセンターとの連携

事業「ルドルフとイッパイアッテナ」公演が自主開催中止となってしまったこともあり、来年度は情勢を注視しつつも可能であれば開催し、次年度以降も継続して行っていけるような実績につなげていけるとよい。

新規自主事業候補については、松阪子どもNPOセンターと連携して開催予定。今年度は新型コロナウイルスの影響により連携事業の自主開催が中止となってしましたが、来年度新規事業においては連携を密にし、社会情勢を注視しつつ、チケット販売、広報活動等を行い、少しでも多くの方に見てもらえるようにしていく。

3. その他

- ・農業屋コミュニティー文化センター改修工事について

令和2年10月1日より農業屋コミュニティー文化センターが改修工事に入っている。工事の内容としては地震時の吊り天井落下を防ぐ改修工事。約1年間の休館となり、令和3年11月1日より開館となる。

- ・会館使用料の改訂について

文化会館のみならず、グラウンド、体育館、公民館等松阪市の様々な施設の使用料の全体的な見直しが行われており、現在選考中。今後のスケジュールとしては令和2年度中に使用料の見直し案、令和3年度は新利用料の周知期間、令和4年度より新利用料の運用開始というものになっている。

- ・次回開催日 令和3年3月18日（木）19：00～

クラギ文化ホール 舞台上